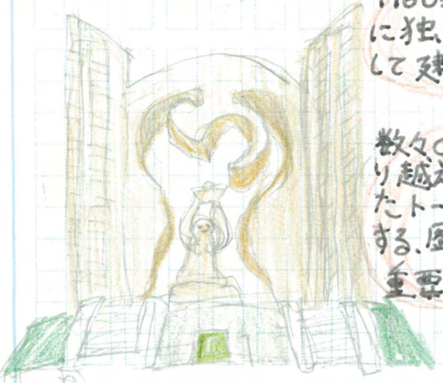
ToGo新聞

トゥー ゴー

1年A組 松井友南

トーゴの行ってみたい！観光スポット

・トーゴ独立記念碑



1960年4月27日に独立を記念して建てられました。

数々の歴史を乗り越え独立を果したトーゴを象徴する、歴史的にも重要な場所です。

・クタマク

「タキエンタ」と呼ばれる泥で出来た2階建ての塔状住居です。

他の宗教的影響を受けずに独自の文化的景観を持ち続けたことが評価され、世界文化遺産として登録されました

他にも、ケラン国立公園という、40種類以上の動物たちが生息している自然公園や、サラカワ公園という国立公園、ロメの大市場があるよ

トーゴ共和国

République Togolaise

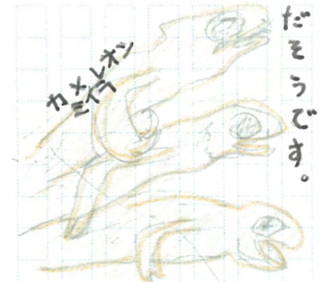
どこにあるの？ どんな国？

南をギニア湾に面し、人口約700万人の西アフリカの国、トーゴ共和国。東はベナン、西はガーナ、北はブルキナファソに接しています。総面積は57万平方キロメートル。日本の1/7ほどの小さな国ですが、国土は南北に長いため気候や文化が南北で大きく異なります。南部は熱帯気候であり、北部はサバンナ気候です。乾季と雨季に区分され、雨季は3～7月の大雨季と9～11月の小雨季の2回あります。

正式名はフランス語でレピュブリク・トゴレーズです。トーゴは現地の言葉で「川辺の村」を意味します。もともとはドイツの植民地でしたが、第一次世界大戦の後にイギリスとフランスに割譲され、イギリス側はガーナの一部となり、フランス領は1960年に独立しトーゴとなりました。かつてドイツ領だったことから、トーゴではアフリカで一番美味しいと評判のビールを楽しむことができます。

ブードゥー教に関わるマーケット

呪術に使うありとあらゆるものが揃っているマーケットがブードゥーマーケットです。呪術は西アフリカ地域はまだまだ根強く残っている宗教の1つです。マーケットには、カメレオン、トカゲ、ネズミ、小さな小鳥や犬もありとあらゆる動物がミイラになっています。バッファローの角やサルの頭も並んでいます。これらの動物のミイラや骨などは、呪術にもちろん使われるが、頭が痛い時に小鳥の骨を細かく砕き飲むと良いという漢方的な役割もあります。サルの頭の粉末は興奮剤、カメレオンの粉末は精力剤になるそうです。そのほかにも家の中に置く魔よけや安全祈願を願うお守りといった使い方もするそうです。「呪術」と聞くとネガティブなイメージを持ちやすいが、本来は家族や他人の幸せを願うものだそうです。



ミイラになった動物がたくさん並んでいる。

ブードゥーマーケットの他にフェティッシュマーケットなどのマーケットがあります。フェティッシュマーケットには、ブードゥー教の祈祷のために使われるグッズを扱うマーケットです。伝統的な薬草や重要的なアイテムを販売しています。カバや馬の頭蓋骨、鳥やヤモリの死骸など。ブードゥー教のおどろおどろしいイメージそのままの珍しい品々が並んでいて、見学や購入もできるようです。

トーゴの有名な料理

・ピノ

アイス食べたくなるね♪

ピノはキャッサバ粉とトマトソース、家によっては唐辛子などを入れて作るものです。

ピノとチキンのグリル、炒めたトマトとタマネギ

・アコメ

トウモロコシの粉に水を入れて水分を飛ばしながら加熱し、タッパーなどに入れて形を作ってから作ります。

・アロコ

アロコは簡単に言うとプランテーン（食用バナナ）を揚げたものです。

プランテーンだけでなく、サツマイモを揚げたものもアロコと呼ぶらしいよ

他にもフフという日本でいうお餅みたいな料理もあるよ